

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年7月11日（木）

2 確認箇所

H9西タンクエリア

3 確認項目

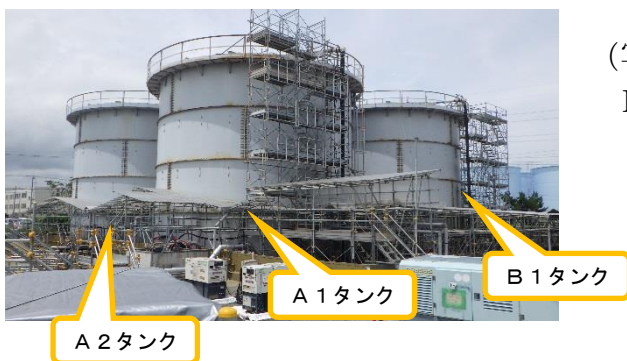
- (1) H9西タンクエリアフランジ型タンクの現況
- (2) H9西タンクエリア内堰配管貫通部の状況

4 確認結果の概要

(1) H9西タンクエリアフランジ型タンクの現況について

これまで(5月9日、7月9日)、RO処理水（淡水）が貯留されているH9タンクエリアのフランジ型タンクの現況を確認しているが、引き続き、H9西タンクエリア(写真1)の現況を確認した。

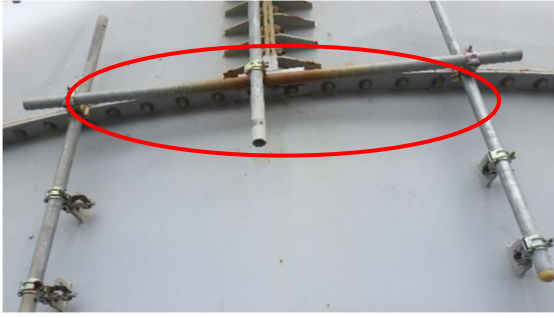
- ・エリアには7基のタンクが設置されており、これまでと同様、タンクの側板や底部の表面に塗装の剥離や錆の発生が見られたが、目視した範囲では漏えいの痕跡や漏えいにつながるような劣化は確認されなかった。(写真2)
- ・タンクの連結配管にも特に異常は確認されなかった。(写真3)



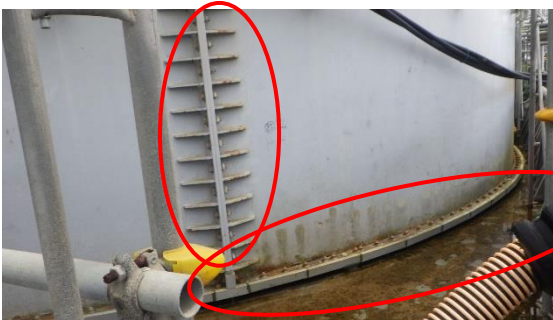
(写真1)

H9西タンクエリアの状況

(南東側から撮影)



(写真 2 - 1)
第一段側板フランジのシール材施工
状況①(A 2 タンクの例)



(写真 2 - 2)
第一段側板フランジのシール材施工
状況②(A 2 タンクの例)



(写真 2 - 3)
タンク側板及び底部の表面の状況
(A 1 タンクの例)



(写真 3)
連結配管の例

A 2 タンク

A 1 タンク

(2) H 9 西タンクエリア内堰配管貫通部の状況について

前回(6月12日)、G 3 北タンクエリア及びG 3 東タンクエリアにおける内堰の配管貫通部の現況を確認したが、本日はH 9 西タンクエリアにおける現況を確認した。

- ・当該エリアには鋼製の内堰をRO処理水移送配管が貫通している箇所が十数箇所あったが、貫通部の止水性に不具合は認められなかった。

(写真4)

なお、東京電力によると、いずれの貫通部も今年5月の定例点検で漏えいがないことを確認している。



(写真4-1)

貫通部の例(エリア北側の貫通部を内堰の外側から撮影)



(写真4-2)

同上(エリア北側の貫通部を内堰の内側から撮影)

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。